

あなたも 高教組へ

2 面・障害児学校部学習会 竹沢清さん
・学びの場もいろいろ 夜間定時制高校

しず
おか

高教組しんぶん

発行所

静岡県高等学校障害児学校教職員組合
〒420-0004 静岡市葵区末広町 1-4
(高教組の事務所、移転しました)
高教組新聞編集委員会
http://www.s-koukyouso.jp/
e-Mail info@s-koukyouso.jp
TEL (054) 254-6900 FAX (054) 254-0814
Facebook:「静岡高教組」で検索

第489号

2023年

7月14日

高教組しんぶんは組合費とカンパによって発行されており、
全教職員に配布しています

「労働基本権制約の代償、 公務労働者の利益擁護機関として、 その役割と責務を果たすこと」

人事院・人事委員会に要求書提出



7月4日、静岡県公務員公共業務労働組合共闘会議（議長：高教組）の代表4人が、名古屋の人事院中部事務局を訪問し、「23年人事院勧告にあたっての要請書」を提出しました。人事院側は総務局長以下4人が対応しました。

要請項目は、①賃金の改善等②非常勤職員の処遇改善③高齢期雇用④労働時間短縮、休暇制度など働くルールの確立⑤民主的な公務員制度と労働基本権の確立⑥健康・安全確保・母性保護・両立支援制度等⑦民間給与実態調査など全61項目に及びます。

好況でもないのに資源価格の高騰や円安で物価が上昇し、実質賃金が13か月連続でマイナスとなるなど、国民・労働者の生活は悪化をつづけています。23年春闘では労働組合の奮闘もあつて各地域で近年を上回る賃上げを勝ちとつていますが、それでも物価高騰に追いついていない実態です。この状況を打開するには、少なくとも物価上昇を上回る賃上げが不可欠であり、そのために公務が率先して賃上げを実現し、民間労働者へと波及させていくことが求められます。

公務員の賃金・労働条件決定は900万人以上の労働者に影響すると言われています。23年夏の人事院勧告で大幅な賃上げを打ち出し、民間労働者の賃上げ、地域経済の立て直し・活性化にもつなげていくべきです。

その一方で、23年夏の人事院勧告では「給与制度のアップデート」の骨格が示されることとなつていますが、政府・人事院は人事評価を用いた能力・実績主義を強化する恐れがあります。あらゆる賃金格差を解消・是正し、職

員全体のモチベーションを維持・向上させる方向での検討が必要です。

公務労働者は、頻発する自然災害や新型コロナウイルス感染症への対応をはじめ国民の命や暮らし、権利を守るために昼夜を分かたず奮闘してお

り、肉体的にも精神的にも大きな負担が生じています。こうした職員に報いるとともに、国民の生活や権利を守るうえで

も、生活改善となる大幅賃上げ、地域間格差の解消、再任用職員・非常勤職員の処遇改善と雇用の安定などの労働条件改善は避けては通れません。

とりわけ再任用職員や非常勤職員の処遇は劣悪

主張

「受益者負担」？

教育の受益者は、生徒本人や保護者ではありません。子ども生徒が市民として成長することは、すべての人がより住みやすい社会をつくりたいと思う人たちの願いです。受益者は共同体の未来。その意味でも医療、福祉と並んで教育の無償化は目標ですが、さらに「食」も「公共財」として無償化し、食料生産者の仕事と生活は保障する社会を夢見ます。

静岡県の現状

御前崎市と小山町が小中学校での給食を無料にしていますが、2022年度の調査では、全国で28%の自治体が無償化しているように

給食も無償に

す。藤枝市は昨年、「学校給食法」では、食材費については保護者負担と規定されているが、「生活保護世帯には実費分が支給され、準じる世帯にも就学援助制度の扶助費で実費分を支給している」「コロナ禍で収入減少世帯にも、市独自で援助を行っている」「食当りの単価は小学生264円、中学生313円、年間約180食になるので、無償化には総額約6億円が必要財源が問題」と回答。

給食の教育的意義

教育の場において「給食」は「受益者負担」や「救済政策としての補助」を超える位置づけになっています。

1951年のユネスコ主催「国際公教育会議」では①すべての学校で

給食は完全無償とする、と勧告。

その3年後、1954年に「学校給食法」が成立。第一条で「この法律は、学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たす

ものである」ので、「学校給食の普及充実に及び学校における食育の推進を図ることを目的」とするとしていました。

2005年制定の「食育基本法」では「食育は、知育、道徳及び体育の基礎となるべきもの」とし、それを受けて2008年に改訂された「学校給食法」では、指導項目に、

「協同の精神を養う」

「生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養う」「食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養う」「我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深める」などを追加。まさに食を通じての「教

育」であることを明確にしました。

今年3月には野党共同の「学校給食費無償化法案」が提出され、子ども政策担当大臣からは「一次元の異なる少子化対策」という言葉も登場していますが、「少子化対策」では論点がずれている気がします。

定時制はもちろん全日制でも、社会とのつながりを体験的に学ぶ「食育」の観点から、「受益者負担」を超え、無償化の道を模索したいものです。



で、民間では許されないほどの常勤職員との不合理な格差が存置されたままとなつています。その処遇改善と安定雇用に向けた方策を講じるためにも、直ちに人事院がその役割を果たす必要があります。

労働者・国民が安心して働き暮らせる社会を実現するとともに、魅力ある職場をつくり、良質で安定した公務・公共サービス、教育を提供するた

めにも、23年人事院勧告にあたって、人事院が私たちの要求を真摯に受け止め、労働基本権制約の代償、公務労働者の利益擁護機関として、その役割と責務を果たすことを強く求めました。

静岡県人事委員会に対して、7月12日に要請書を出しました。この後、人事院勧告を受けて、9月には再び要請行動を行います。

全国臨時教職員問題学習交流会in静岡 かたろう・つながろう・たちあがろう 8月11日(金)13日(日)

毎年夏に開催されている「全国臨時教職員問題学習交流会」が、今年は静岡にやってきました。この集会は、全国の臨時教職員と、臨時教職員の権利を広げるために努力している人たちが集まり、情報交換や経験交流をしながら、「誰もが大切にされる学校」をつくるためにどうしたらいいかを一緒に考える集会です。

この静岡県では2020年度から、任期付教職員、臨時的任用教職員については賃金や休暇制度が正規とほぼ同等になり、退職手当の支給、共済加入も実現しました。しかし、任用継続の不安は残っていますし、育休が取得できないなどの差別が残っています。また、会計年度任用職員（非常勤職員）においては待遇の改善がほとんど見られません。臨時教職員の支えがなければ

視座

ググれカス。ちよつと乱暴な言葉ですが、ついでに前までよく聞く言葉でした。わか

らないことを相手に聞く前に、Googleで検索して、という意味。会話の際、相手が知らないワードを発した時、その意味を尋ねたら、話のコンを折ってしまうので、さうさとググって、話の流れを止めないことも、現代のコミュニケーションの新たなエチケットなのかもしれません。気軽に会話中に相手がスマホを触ったら、たしかに失礼に思えますが、もしかしたらググっているのかもしれない▼最近話題の生成AI、せうかくなので、ChatGPTのアプリをスマホにダウンロードしてみました。衝撃でした。これまで、Googleでは、単語を入力して検索すると、関連するサイトに誘導され、そこで情報が得られたのですが、ChatGPTは、質問文を入力すると、ほぼ充分な情報を無難な文章で返してくれます。たしかに教育関係者が警戒するわけですが、英語の関係代名詞と関係副詞の違い、などと挑戦的に質問してみたところ、ほぼ完璧な説明が出てきて、危機感さえ覚えました。もう教師だけが答えを握り、生徒に教える時代はホントに終わり、と▼さて、この春の異動で、帰宅部から運動部正顧問になつてしまつたんです。もちろん、技術などはまったく教えられません。ただ部員の話聞き、そのつど最適解をとみに探りつつ、猛練習を強要する威厳もないため、部員が納得する練習内容と練習量を決めてきました。文科省ガイドラインに従い、練習の時短、週休二日で教えない部活ですが、エースを出すすると東海大会進出、全国大会出場を狙うまでに！こんなことは滅多にないことで、暫定正顧問でもあります。教えないことは、他の場面でも有効な気がしてきました。

<参加申し込み期限>
2023年8月4日(金)までをお願いします。

<参加申し込み方法>
Googleフォームにアクセスして、参加申し込みをしてください。
URL: <https://bit.ly/3MMqLH5>
※右のQRコードからのアクセスが簡単です。

<お問い合わせ先>
第53回全国臨時教職員問題学習交流会in静岡現地実行委員会
〒420-0004 静岡市葵区末広町1-4市教組会館内 全静岡教職員組合 (担当:長澤裕)
TEL 054(253)3331 E-mail zenkyoshizuoka@dream.ocn.ne.jp

障害児学校部学習会 ～実践記録を「書く」ことで考え、 共有して「子ども理解」を深め、 専門性を高めあう～

竹沢 清さん



6月24日、障害児学校部の総会の後、愛知県で長きにわたり障害児教育に携わってこられた竹沢清先生を招き、「事例から考える学習会」を開催しました。

組合員ではない方も含め、22人の参加がありました。

一本目の報告はS先生
の小学部の事例。障害特
性に重きを置いた指導を
重視する他県での経験と
は異なる「ダメです」と
禁止や抑制を前面に出す
本県の勤務校の現状に葛
藤を覚えながらも、信念
を持ってKさんの意思表
示を大切にして関わった
過程やKさんの変容を報
告しました。

二本目はH先生の高等
部の事例です。短期間での
異動が多い教師集団の中
で、生徒や同僚との関
わりを見てわかる掲示
物などで丁寧具体的に
伝えることを意識的に
行う活動を通して、担任

「子どもに対しての『ね
ばならない』を緩められ
るとよい。苦手なことも
気持ちにはわかると受け止
めてもらえると、安心感
を持って変えていこうと
思え、それが達成感につ
ながる」



「同僚との関係は『向かい合う関係』ではなく『一緒にやる関係』。個々に見れば弱点も、集団になれば『持ち味』になる。それぞれの持ち味や個性が生きるような集団作りができる」とよい。そのため「一つのことを介して一緒にやる」ことは有効

「進路先からは、技術や従順さではなく、『意思表示のはっきりできる人』に育ててください」と求められる。怖い先生の指導でびしっとし、ちゃんとやっているように見せようとすることに意味はない。今の教育は『問い』と『答え』が近すぎて、大人

「『同僚との関係は』向かい合う関係』ではなく『一緒にやる関係』。個々に見れば弱点も、集団になれば『持ち味』になる。それぞれの持ち味や個性が生きるような集団作りができる」とよい。そのため「一つのことを介して一緒にやる」ことは有効

多様な学びの場 学校もいろいろ

②夜間定時制高校

静岡県の県立高校の夜間定時制のある高校は多部署を含め現在20校あるが、藤枝東と島田商業は来年度から募集を停止し4年後には閉校する。志太地区は高校進学率が低いとい前から言われていたが、夜、自転車通える高校がなくなってしまうとますます高校進学率が低下するのではないかと危惧される。金谷に新しく3部制の単位制高校が新設されるが、高い交通費は通学の支障になるだろう。

夜間定時制に通う生

徒の大半は小中学校時代に不登校だった生徒である。経済的な困窮家庭の場合もかなりあり、志望動機は「働きたいながら学べるから」と答える生徒が多く、家計の担い手になってきた生徒もいた。小さいきょうだいの世話をするために夜間高校に来ざるを得ない生徒もいた。「先生、ソファで少し寝かせて」と言っている生徒も多かった。家に帰って幼いきょうだいの面倒を見る前に一休みして帰る生徒もいた。ごはんを作ってくれぬ人がいない、お米を買う習慣がない、

台所に調理器具がない、冷蔵庫には食品に名前を書いて各自が食べるなど、10年以上定時制に勤務したが、貧困の状況は年を追うごとに深まっていった気がする。

おなかをすかせて学校に来る生徒が多いから学校（食パンと牛乳の補食の学校だった）で食べる行事を増やしたい、と公約に上げた生徒会長が当選したときから、作って食べる行事が増えた。BBQ、寿司・カレー・鍋など生徒会役員と職員総出で作った。「学校で生徒も多いと思われ

ゆきとどいた教育を求める全国署名
2023 静岡県スタート集会
8月27日(日)13:30~16:30
あざれあ 501会議室
(静岡市駿河区馬淵1丁目7番1号 静岡駅から徒歩5分)

学習講演会
「深刻な教員不足の原因と解決への展望」
講師：山崎洋介氏

〈講師紹介〉
「ゆとりある教育を求め全国の教育条件を調べる会」事務局員。奈良県の公立小学校教員を退職後、大阪大学大学院で学びながら教育行政について研究。著書に『もっといっしょに学ぶ』(旬報社)。今年6月にも『教員不足クライシス～非正規教員のリアルから迫る教育の危機』(旬報社)を出版したばかり。

※学習講演会の前に、主催者挨拶、各団体からの報告・決意表明などがあります。

た。仕事と学業の二重生活の過酷さゆえに卒業率が5割を超えること（分ち書きにすれば読める）、漢字は読めるが書けない、文章が書けないなど学習障害の生徒が多かった。読むこと書くことが苦手だが、聞いてその場で答える能力には優れている生徒がかなりいた。小学校時代に学習障害に気づいてもらえず置いてきぼりにされて不登校になってしまった生徒も多いと思われ

(前田浪江)

話題の本を読む13

山上徹也と日本の「失われた30年」

五野井郁夫 池田香代子著 集英社

この本は、安倍晋三元首相を暗殺した山上徹也被告が2019年10月13日から2022年6月30日までツイッターに書いた文をもとに、山上被告はなぜ犯行におよんだかを読み解く対談と評論からなっている。巻末にはツイッターの全文を載せている。まずは、日本社会の過酷な実態に焦点を当て、次に山上徹也被告の生い立ちや思考など、彼の置かれた状況を吟味する。彼も日本のバブル経済以降に社会に出たいわゆる「失われた30年」の世代。剥き出しの拝金主義、新自由主義的政策に翻弄され、自己責任という考えに追い込まれ、絶望感をもつ人々。特に男性たちを中心に語られるが、彼らの多くが保守的で、ネット右翼と呼ばれる集団に足をかけている。それを、自分には社会的な不満があるが左派的な政策では解決しないと判断し、パラドクスに陥り前に進めない人々、と定義する。また、恋愛やセックスの相手を欲しているが叶わず、その原因は女性の側にあると考える「インセル」(involuntary celibate 本意の禁欲主義者、非自発的独身者などと訳す)という混成語がネットでは飛びかっているが、筆者の「山上被告の半分は『わたしだ』たかもしれない」という言葉が、心に残る。(Y)

山上徹也と日本の「失われた30年」
五野井郁夫 池田香代子著
集英社

宗教2世の政治学者
「100人の村」著者
山上徹也の父・山崎洋介氏(1944年完全分離)
「ジョーダン」という異名を取った山崎氏は、
金1364万円を完全分離
した山崎洋介氏(1944年完全分離)
の長男(1944年完全分離)

同じロスジェネ世代だという筆者の「山上被告の半分は『わたしだ』たかもしれない」という言葉が、心に残る。(Y)